

教科	芸術	科目	音楽 I	年次	2～4	単位数	2
使用教科書 (副教材など)		音楽 I 改訂版 Tutti(教育出版)					

学習 目標	<p>(1) 音楽の幅広い活動を通して、生徒が思いや意図を持って表現したり味わって鑑賞したりする力を育成し、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てます。</p> <p>(2) 音や音楽を知覚・感受し、音楽だけでなくあらゆるもののよさや美しさに価値を見いだせる感性を養います。</p> <p>(3) 楽曲の文化的・歴史的背景について理解し、広い視野で音楽を捉え、我が国及び諸外国の音楽文化への理解を深めます。</p>	
評価の 観点	① 知識・技能	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な、歌唱、器楽の技能を身に付け、創造的に表現できている。
	② 思考・判断・表現	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら音楽に対する理解を深めることができている。
	③ 主体的に学習に取り組む態度	音楽や音楽文化に関心をもち、音楽の幅広い活動を通して、歌唱、器楽、鑑賞の学習に主体的に取り組んでいる。
評価の 方法	授業態度や参加姿勢など授業の取り組み方や実技試験で評価をします。	

	単元	学習内容
前期	1 歌唱 「校歌」 「ふるさと」 「ひまわりの約束」 「サンタ・ルチア」 「オー・ソレ・ミオ」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりを感受し、自己のイメージをもって創意工夫しながら歌います。</li> <li>・諸外国の言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりを感受し、創意工夫を生かした歌唱表現ができるよう技能を身に付けます。</li> </ul>
	2 創作 ・カップソング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって創作表現を創意工夫します。</li> <li>・音素材や音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて表現します。</li> <li>・創意工夫を生かした創作表現（反復、変化、対照など）をするために必要な技能を身に付けます。</li> </ul>
後期	3 器楽 ・ギター ・ヴァイオリン ・キーボード	<ul style="list-style-type: none"> <li>・器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫します。</li> <li>・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景との関わりを感受し、器楽表現の技能を身に付けます。</li> <li>・曲にふさわしい奏法や身体の使い方などを理解し、他者との調和を意識して演奏します。</li> </ul>
	4 鑑賞 ・ハイスクール ミュージカル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、自分や社会にとっての音楽の意味や音楽表現の共通性について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴きます。</li> </ul>